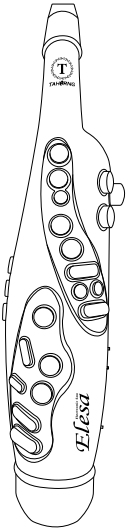
Electronic Sax

Elesa



電子サックス Elesa 10　取扱説明書

TAHORNG

TAHORNG 日本輸入総代理店
〒 461-0004　名古屋市東区葵 2-3-13　みねビル 3F
株式会社ファインアシスト
www.fineassist.jp

■はじめに

この度は Tahorng Elesa（エレサ）10 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
Elesa 10 はいつでもどこでも手軽に演奏を楽しむことができる電子サックスです。一台でアルトサックス、テナーサックス、バリトンサックス、ソプラノサックスといった異なるサックスを演奏できるだけで無く、トランペットやクラリネットなど、20 種類の音色を搭載しています。運指タイプもサックス、リコーダー、トランペットといった様々なタイプを搭載。本体にバッテリーとスピーカーを内蔵しているため、ケーブルレスでお使いいただける他、ヘッドフォン端子も装備しており夜間の練習にも最適です。
また、Bluetooth によるワイヤレス MIDI 機能も搭載しており、BLE-MIDI 対応機器と接続することで外部音源を Elesa 10 からコントロールすることも可能です。さらに、Bluetooth Audio 機能も装備しており、Elesa 10 の内蔵スピーカーから再生することができますので、スマートフォンなどの音楽と一緒に気軽にアンサンブルを楽しめます。

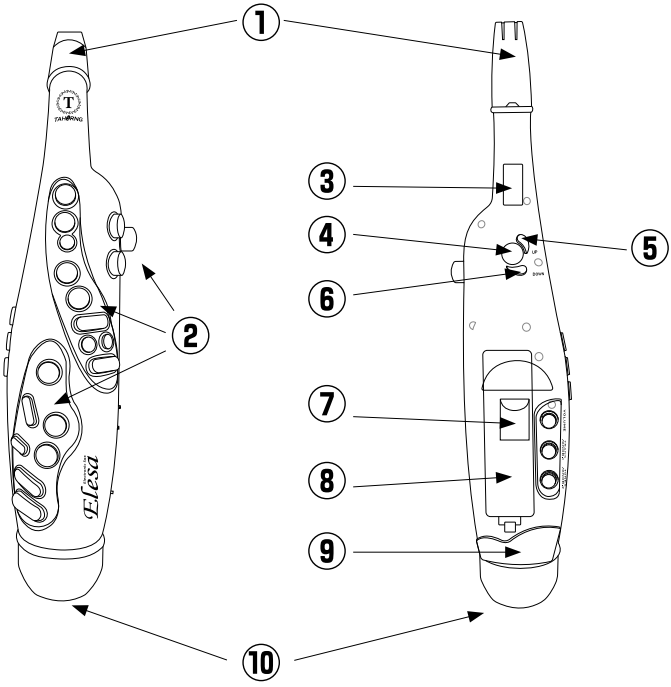
■主な特徴

- 一般的なサキソフォーンと同じく 23 個のボタンに加え、オクターブダウンボタンを加えた 24 キーの MIDI 対応電子サックス
- SAX、リコーダーなど、6 種類の運指を選択可能
- USB 接続または Bluetooth MIDI（BLE-MIDI）接続で様々なデバイスと接続可能
- Bluetooth Audio 機器を接続してスマートフォンなどの音楽をバックに演奏可能
- トランスポーズ（± 12 半音）機能を装備
- リバーブエフェクトを内蔵
- 単三電池 4 本での駆動に加え、USB 給電でも動作可能
- USB 接続により MIDI データを送信可能
- 3.5mm フォンジャック端子装備（ヘッドフォン / ラインアウト）
- オートオフ機能付き（10 分）

■使用上の注意

- Elesa 10 の上に重たいものを置かないでください。
- Elesa 10 を不安定な場所に置いて使用しないでください。
- 浴槽やプールなどの水や濡れた場所の近くで使用しないでください。
- 火災や感電の原因となる可能性があるので、絶対に分解しないでください。
- ガスや火気のある場所で使用しないでください。
- 清掃の際は乾いた布を使用してください。
- 本体をシンナーやベンジン等の有機溶剤や洗剤等を使用して拭かないでください。
- 長時間使用しないときや雷雨の際は USB ケーブルを抜き、本体の電源を切ってください。
- 長時間使用しないときは液漏れの可能性がありますので、乾電池を本体から外して保管してください。

■各部の名称と機能



① マウスピース　：　吹き口になります。なお、使用しないときは保護のために付属のマウスピースキャップを付けて保管してください。

② キースイッチ　：　演奏に使用するキースイッチです。詳細は別紙の運指表を参照してください。

③ ディスプレイ　：　音色や様々な設定を表示するディスプレイです。

④ フィンガーレスト（左）　：　左手の親指を置くためのフィンガーレストです。

⑤ オクターブ UP ボタン　：　このボタンを押している間は、音が 1 オクターブ上がります。

⑥ オクターブ DOWN ボタン：　このボタンを押している間は、音が 1 オクターブ下がります。

⑦ フィンガーレスト（右）　：　右手の親指を置くためのフィンガーレストです。

⑧ 電池ボックス　：　Elesa 10 を駆動するための電池ボックスです。単三電池 4 本を使用します。

⑨ つば受け　：　演奏中の唾液がスピーカー側に垂れないようにするための受け皿です。取り外して溜まった唾液を捨ててください。

⑩ スピーカー　：　内蔵スピーカー

⑪ ENTER ボタン　：　設定の保存およびリセットの際に決定を行うボタンです。演奏用のキーとしても使用します。

⑫ SHIFT ボタン　：　⑬の SET ボタンを押しながらこのボタンを押すことで、⑮および⑯で調整できる機能を切り替えることができます。また、演奏用のキーとしても使用します。

⑬ SET ボタン　：　⑮および⑯のノブでコントロールできる機能を切り替えるためのボタンです。演奏用のキーとしても使用します。

⑭ VOLUME ノブ　：　Elesa 10 の内蔵音源の音量を調整するノブです。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。なお、左に回しきると音が出なくなります。

⑮ TRANS/KNOB.1 ノブ：　半音単位で移調させるためのノブです。上下に最大 12 半音移調できます。また、⑪〜⑬のファンクションボタンと組み合わせると、様々な調整が行えます。

⑯ TONES/KNOB.2 ノブ：　Elesa 10 本体の音色を変更するためのノブです。音色は 20 種類あります。また、⑪〜⑬のファンクションボタンと組み合わせると、様々な調整が行えます。

⑰ ヘッドフォン / ラインアウト端子　：　ヘッドフォンを接続する端子です。ミキサーなどに接続するラインアウト端子としても使用できます。

⑱ 電源スイッチ　：　本体の電源を入れるスイッチです。二段階になっており、一番右側にすると Bluetooth 機能がオンになります。

⑲ 電源 LED　：　電源オンの状態で点灯する LED です。

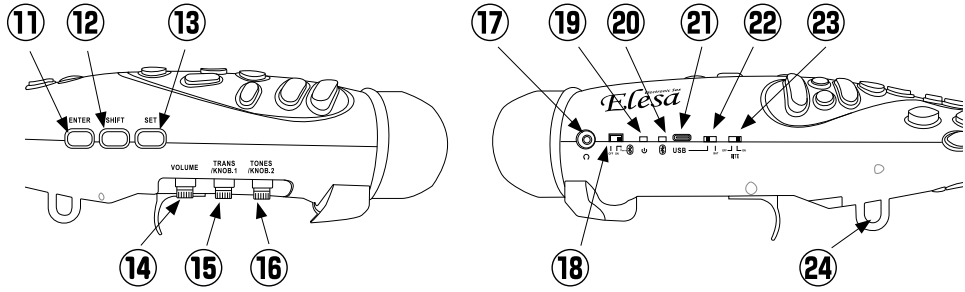
⑳ Bluetooth LED　：　Bluetooth 機能がオンの時に青色に点灯する LED です。青色の点滅中は Bluetooth 機器との接続を行っている状態を示し、接続が完了すると青色で点灯したままになります。

㉑ USB-C 端子　：　USB による給電および PC などと USB 接続するための端子です。USB 接続による MIDI の送受信が可能です。

㉒ 電源切り換えスイッチ　：　本体の電源を USB またはバッテリー（単三電池）のどちらから取るかを切り換えるスイッチです。

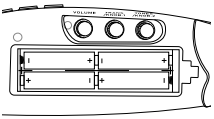
㉓ BITE 機能オン / オフスイッチ　：　BITE（バイト）機能をオンオフするスイッチです。オンにするとマウスピース部分を咬んでビブラートなどをかけることができます。

㉔ ストラップリング　：　ネックストラップを引っかけるリングです。



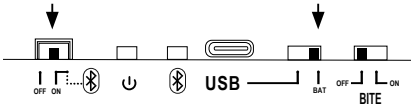
■セットアップ

Elesa 10 は単三電池 4 本を使用することで、電源アダプターなどを接続せずに使用可能です。本体裏面の電池ボックスカバーを開け、図のように 4 本の乾電池を入れてください。使用する単三電池はアルカリ電池をお使いください。
PC と USB 接続しているときは、USB 側から電源を供給できます。また、携帯電話の AC アダプターなどと USB ケーブルで接続すれば、単三電池無しでもお使いいただけます。

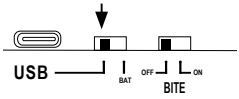


■電源の投入

電池で使用する場合には、まず㉒の電源切り替えスイッチを「BAT」側にし、⑱の電源スイッチを ON の位置にします。⑲が白く点灯し使用可能な状態になります。USB 給電で使用する場合には、㉒の電源切り替えスイッチを「USB」側にしてください。



乾電池で使用の場合



USB 給電で使用の場合

■音量の調整

キースイッチを何も押さずマウスピースから息を吹き込みながら、⑭の VOLUME ノブを調節して音量を設定してください。時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

■音色の変更

電源が入っている状態で、⑯の TONES/KNOB.2 を回すと音色を切り換えることができます。音色は TONE1 ～ TONE20 まであり、時計回りに回すと TONE 番号が増え、反時計回りに回すと TONE 番号が減少します。搭載されている音色は下記を参照してください。なお、音色名は③のディスプレイに表示されます。

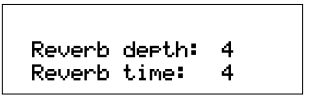
TONE 番号	音色名	ディスプレイ表示	TONE 番号	音色名	ディスプレイ表示
1	ソフトソプラノサックス	Soft Alto Sax	11	バスーン	Bassoon
2	テナーサックス	Tenor Sax	12	オーボエ	Oboe
3	アルトサックス	Alto Sax	13	イングリッシュホルン	English Horn
4	ソプラノサックス	Soprano Sax	14	クラリネット	Clarinet
5	バリトンサックス	Bari Sax	15	フルート	Flute
6	トランペット	Trumpet	16	ピッコロ	Piccolo
7	ミュートトランペット	TrumpetCup	17	パンフルート	Panflute
8	トロンボーン	Trombone	18	ボトルブロウ	Bottle
9	フレンチホルン	French Horn	19	ハーモニカ	Harmonic
10	チューバ	Tuba	20	アコーディオン	Accordion

■トランスポーズ（移調）

電源が入っている状態で、⑮の TRANS/KNOB.1 を回すと半音単位でトランスポーズ（移調）することができます。移調幅は最大上下に 1 オクターブとなります。時計回りに回すとプラス方向に、反時計回りに回すとマイナス方向にトランスポーズします。現在のトランスポーズ値は③のディスプレイに「-12 ～ 0 ～ +12」の数字で表示されます。
Elesa では運指表に記載されている音名の実音が「Transpose: 0（C）」の状態で出るようになっており、**音色を Alto Sax や Tenor SAX に切り換えても Eb 管や Bb 管にはなりません。**Elesa を一般的なサキソフォーンの実音と同じにするには、**Eb 管（アルトサックスやバリトンサックスなど）の場合 +3 （Eb）に、Bb 管（テナーサックスやソプラノサックスなど）の場合 -2（Bb）**にしてお使いください。

■リバーブの調整

電源が入っている状態で⑬の SET ボタンを押すと、ボタンを押している間ディスプレイが切り替わり、リバーブの調節ができるようになります（画面が異なる場合は⑫の SHIFT ボタンを数度押して下記の様な画面を表示させます）。ディスプレイが下図の表示になっている状態で、TRANS/KNOB.1 を回すとリバーブの深さが、TONES/KNOB.2 を回すとリバーブの長さ（タイム）を調節できます。どちらも 0 ～ 8 までの数値があり、数値が大きいほど深く（長く）なります。設定終了後に SET ボタンを離すと、ディスプレイが音色名とトランスポーズ値に戻ります。



■息の感度とフィンガリングタイプの設定

⑬の SET ボタンを押しながら⑫の SHIFT ボタンを数度押して下記の様な画面を表示させます。⑬の SET ボタンを押し続けている間は、息の感度とフィンガリングタイプの設定ができるようになります。ディスプレイが下図の表示になっている状態で、TRANS/KNOB.1 を回すと息の強さに対する反応（数字が小さいほど弱い息で音が出ます）が、TONES/KNOB.2 を回すとフィンガリングのタイプが設定できます。息の感度は 1 ～ 5 まで、フィンガリングタイプは 6 種類あります。フィンガリングタイプの詳細は別紙の運指表を参照ください。設定終了後に SET ボタンを離すと、ディスプレイが音色名とトランスポーズ値に戻ります。

■ BITE（バイト）センサーの機能とピッチベンドセンシティブの設定

Elesa 10 には BITE センサー（マウスピースを咬むことによって効果が得られる機能）が搭載されています。BITE センサーでコントロールできるのは、ピッチベンド（ピッチを上下させる機能）とモジュレーション（周期的にビブラートをかける機能）の 2 種類が用意されています（㉓の BITE 機能オン / オフスイッチをオンにした時だけ有効です）。
⑬の SET ボタンを押しながら、⑫の SHIFT ボタンを数度押して下記の様な画面を表示させます。⑬の SET ボタンを押し続けている間は、BITE センサーの機能とピッチベンドセンシティブを設定できます。
BITE センサー機能がピッチベンドになっている（初期値）状態では、マウスピースを強く咬むとピッチが下がり、噛む力を弱めるとピッチが戻ります。このように咬む力の強弱でビブラート効果が得られます。
ピッチ変化の量は P.bend sensitive: で調整します。下図の表示を出したまま（⑬の SET ボタンを押し続ける）⑯の TONES/KNOB.2 を回すと、ピッチベンドセンシティブを設定できます。変化幅は 0 ～ 20 半音の間で、0 にするとピッチの変化は無くなります。
BITE センサーでは、咬む力を弱めた際に実音より低い音にピッチ変化する場合があります。ピッチベンドセンシティブをあまり大きくしすぎると、音階をコントロールしにくくなってしまう場合がありますのでご注意ください。

```
Bite select:PichBend
P.bend sensitive:   2
```

上記画面を表示させた状態で⑮の TRANS/KNOB.1 を右に回すと、Bite select：の表示が Modulation（モジュレーション）に変わります。BITE センサー機能をモジュレーションにした場合、マウスピースを強く咬むと周期的なビブラートが深くかかり、咬む力を弱めるとビブラートが弱くなります。
なお、Elesa 10 のマウスピースは硬い樹脂でできていますので、BITE センサーをお使いになる際は、歯や顎を痛めないためにマウスピースパッチなどのご使用をお勧めいたします。

■ビブラートの深さと速さの調整

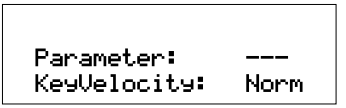
⑬の SET ボタンを押しながら⑫の SHIFT ボタンを数度押して下記の様な画面を表示させます。⑬の SET ボタンを押し続けている間は、ビブラートの深さとビブラートの速さの設定ができるようになります。

```
Vibrato depth: 0
Vibrato rate:  0
```

上記画面を表示させた状態で⑮の TRANS/KNOB.1 を右に回して数値を大きくすると、ビブラートが深くなります。このビブラートの深さを 0 以外の数値にすると、常にビブラートがかかった音になります。なお、0 の状態でも BITE センサーを Modulation で使用してれば、BITE 機能によるビブラートはかかります。
また、上記画面を表示させた状態で⑯の TONES/KNOB.2 を回すとビブラートの速さを調節することができます。数値が大きいほどビブラートが速くなります。

■ベロシティーの設定

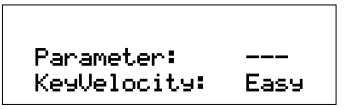
⑬の SET ボタンを押しながら⑫の SHIFT ボタンを数度押して下記の様な画面を表示させます。



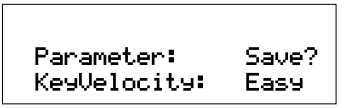
上記画面を表示させた状態で⑯の TONES/KNOB.2 を回すとベロシティー感度を調節することができます。ベロシティーとはそれぞれの音が発音するときの大きさに関するパラメーターです。Elesa では息の強さによってベロシティーも変化するようになっています（持続音の音量変化はエクスプレッションという MIDI メッセージでコントロールされています）。ベロシティーの感度は「Easy」、「Norm」、「Hard」の 3 種類があり、「Easy」にするとあまり息の量を使わずに大きなベロシティーが得られます（結果的に音が出しやすくなります）。

■設定の保存とリセット

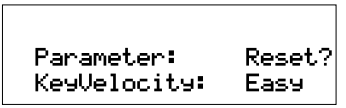
⑬の SET ボタンを押しながら⑫の SHIFT ボタンを数度押して下記の様な画面を表示させます。



上記画面を表示させた状態で⑮の TRANS/KNOB.1 を右に回すと、下記の様な画面に切り替わります。



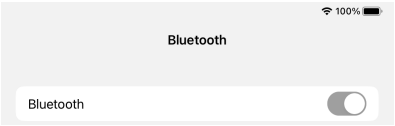
そのまま⑪の ENTER ボタンを押すと、現在設定されている設定が保存されます。
また、⑮の TRANS/KNOB.1 を左に回すと、下記の様な画面に切り替わります。



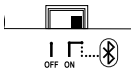
そのまま⑪の ENTER ボタンを押すと、現在設定されている設定がすべて初期化されます。

■ Bluetooth 接続の設定（オーディオ）

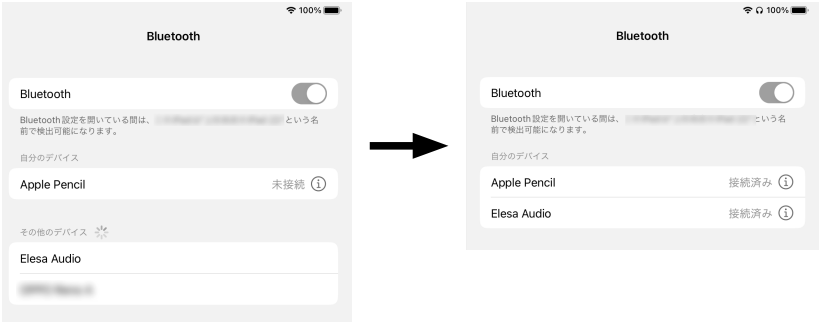
Elesa 10 は Bluetooth 接続で外部のオーディオ機器の音声を Elesa 10 の内蔵スピーカーから再生し、Elesa 10 の音とミックスして出すことが可能です。
接続を行うには、まず iPhone や iPad などの Bluetooth 接続対応機器の設定画面を開き、Bluetooth をオンにします（以下は iOS の例）。



次に⑱の電源スイッチを下図の様に Bluetooth マークまでスライドさせます。



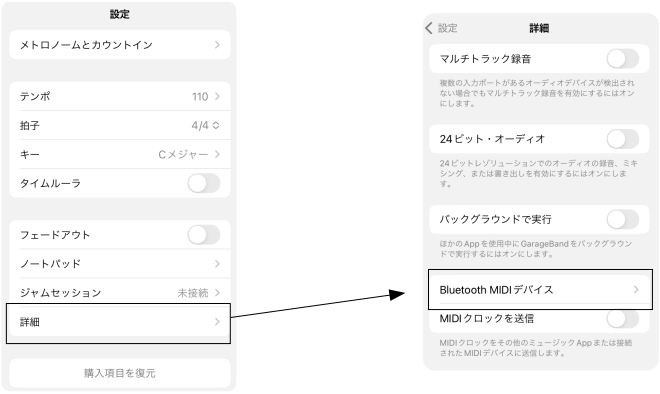
iOS の設定> Bluetooth の画面に下図の様に Elesa Audio が表示されますので、タップして接続します。



これで Bluetooth 接続が完了しますので、オーディオを再生できるアプリなどで音楽を再生し、Elesa のスピーカーから聞こえることを確認して下さい。Bluetooth 接続されたオーディオの音量だけを Elesa で調節することはできませんので、音量調整は Bluetooth オーディオ機器側で行って下さい。
なお、Elesa 側でどの機器とペアリングされているのかを確認することができないため、iOS など**相手機器を選択および確認できない機種と組み合わせてお使いになる場合の動作保証は行っておりません**。あらかじめご了承ください。

■ Bluetooth 接続の設定（MIDI）

Elesa 10 は本体の演奏情報を iOS などの Bluetooth MIDI 対応機器に送信して使用することができます。
BLE-MIDI 規格の機器と通信することができますが、Elesa 側でどの機器とペアリングされているのかを確認することができないため、iOS など**相手機器を選択および確認できない機種と組み合わせてお使いになる場合の動作保証は行っておりません。**あらかじめご了承ください。
接続を行うには、まず iPhone や iPad などで動作する Bluetooth MIDI 対応アプリの設定画面を開きます（以下は Garage Band の例）。



表示されたデバイスの中から「Elesa MIDI」をタップし、右側に「接続済み」が確認できれば接続は完了です。

■ USB 接続による MIDI の送受信

Elesa 10はPCとUSBケーブルで接続すると、MIDIコントローラーとして使用できるほか、MIDI 信号を受信して Elesa 本体の内蔵音源を鳴らすことも可能です。
Elesa の内蔵音源を鳴らす際は、マウスピースに息を吹き込む強さでコントロールチェンジの 11 番（エクスプレッション）が送信されている関係で、音源にエクスプレッション値 0 が送られている場合があり、その場合 MIDI ノートを受信しても音が出ません。このような場合は、DAW 等からエクスプレッション値 127 を送出して内蔵音源のボリュームを上げることで音が出るようになります。
なお、PC と USB 接続している場合は、電源切り替えスイッチを USB 側にすることで、バスパワーで駆動できます。楽曲制作などで長時間MIDIコントローラーとして使用する場合は、電源切り替えスイッチを USB 側にしてお使いください。

■仕様

モデル名	Elesa 10
ボタン / キー	24 ボタン / キー
内蔵音色数	20 音色
ディスプレイ	ドットマトリックス LCD ディスプレイ　128 × 64
スイッチ	電源スイッチ、USB/ バッテリー切り換えスイッチ、BITE センサーオン / オフスイッチ
ノブ	VOLUME、TRANS/KNOB.1、TONES/KNOB.2
コネクター	USB ポート（TYPE-C）、ラインアウト / ヘッドフォンアウト
スピーカー	45mm × 25mm 5W（RMS） 4 Ω
電源	アルカリ単三電池 4 本または USB 給電
連続使用時間	アルカリ乾電池使用時　約 3.5 時間
Bluetooth 機能	Bluetooth MIDI（BLE-MIDI）による MIDI 送信、および Bluetooth Audio による内蔵スピーカーからのオーディオ再生
USB 機能	USB 給電（バスパワー）および USB MIDI による MIDI データの送受信
寸法	430（長さ）mm × 80（直径）mm
重量	406g（電池含まず）
付属品	USB ケーブル（Type-C to Type A）、キャリーバッグ、マウスピースキャップ、ネックストラップ、取扱説明書

■保証書と保証規定

保証規定

本保証書による電子部品の保証期間は、製品ご購入の日から１年間です。
保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償での修理（または交換）をいたします。
なお、保証期間内であっても次に該当する場合は有償修理となります。
①お客様の不適当な取扱いによる故障の場合
②故障の原因が当社の責に帰さないとき
③本製品の本来の使い方以外で使用の場合
⑤火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
⑥誤った接続、操作による故障及び損傷
⑦ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷
故障、修理等のご相談ならびに各種サポートにつきましては、本保証書並びに購入日、購入店名がわかるレシート等をご用意の上、弊社サポートサイトよりご連絡下さい。

サポートサイト：http://www.fineassist.jp/support/contact_support/

QR コード→

製品名	Elesa 10
お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お客様情報	住所 氏名 TEL _____ e-mail _____
購入店	